

第 15 回 亀山市立図書館整備推進委員会資料

令和 3 年 2 月 10 日（水）

亀山市図書館サービス実施計画（案）

令和3年●月 亀山市教育委員会

目 次

1 計画策定の目的	1
2 機能ごとの図書館サービスの取組内容	4
3 各年度の成果指標	12
4 計画実現のために	13
5 用語説明	14

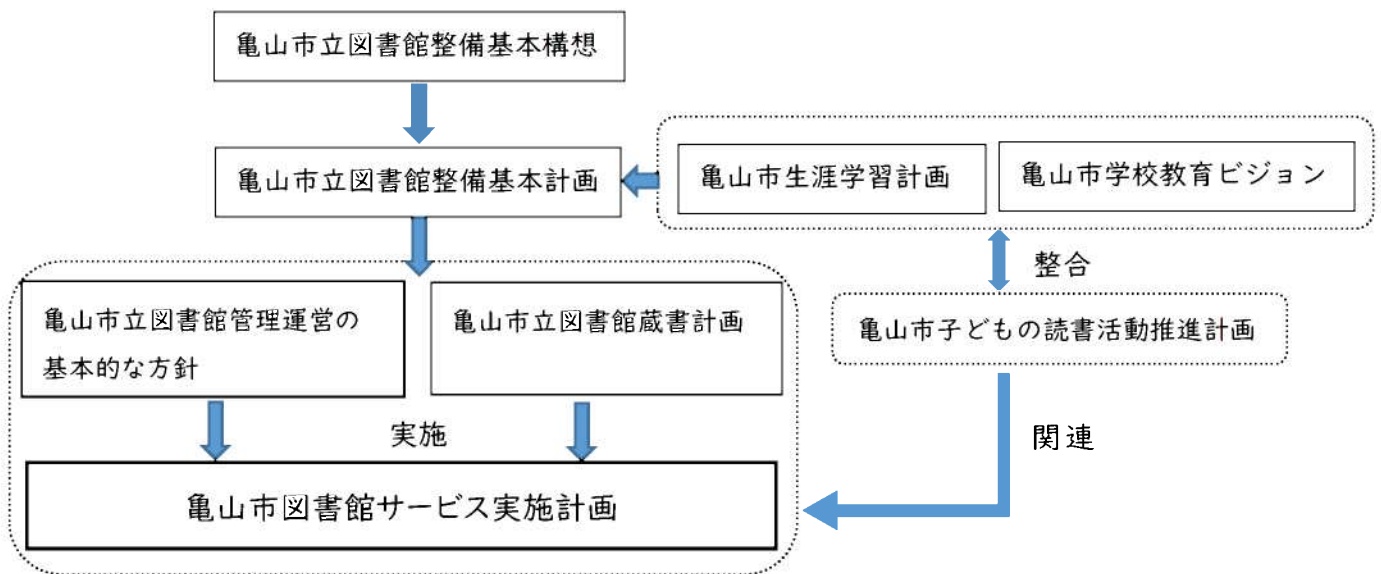
I 計画策定の目的

(1) 計画の目的

亀山市図書館サービス実施計画（以下、「本計画」という。）は、亀山市がJR 亀山駅前に整備を計画している新図書館において、平成30年5月に策定した「亀山市立図書館整備基本計画」（以下、「基本計画」という。）の具現化に必要な図書館サービスを具体的に展開するため、策定するものです。

(2) 計画の体系

本計画は、「亀山市立図書館整備基本構想」「基本計画」で示された基本理念・基本方針を具現化するため、「亀山市子どもの読書活動推進計画」その他関連する計画との整合性を図りながら、令和2年3月に策定した「亀山市立図書館管理運営の基本的な方針」「亀山市立図書館蔵書計画」（以下、それぞれ「管理運営の基本的な方針」「蔵書計画」という。）と一体的に取組を展開していくものです。

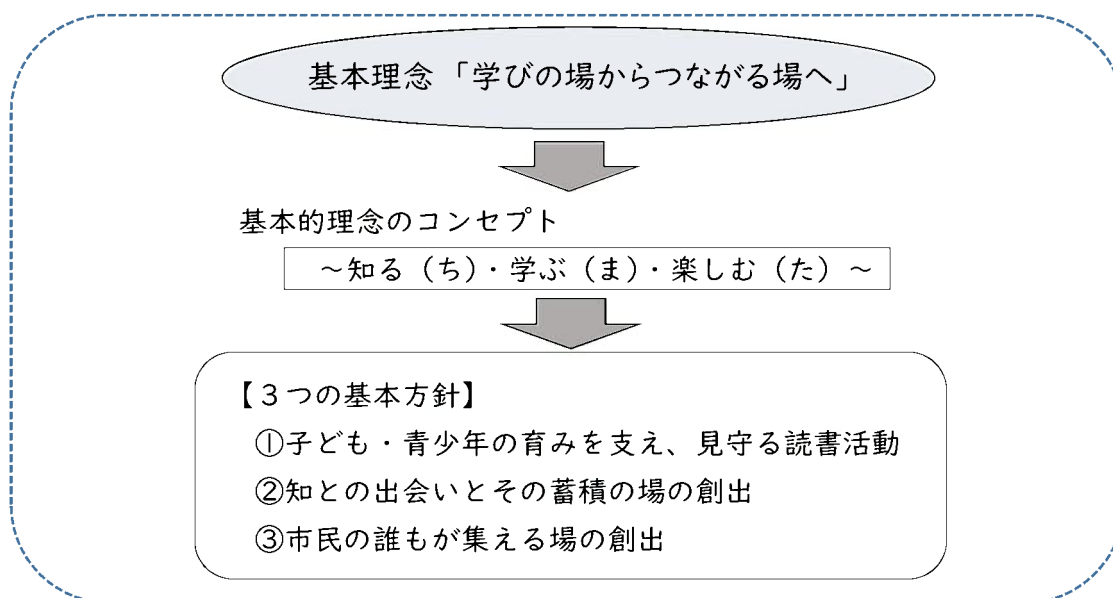


(3) 計画の期間

本計画の期間は、新図書館開館年度（令和4年度）を含む令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

(4) 基本計画における新図書館に求められるサービス

基本計画においては、新図書館の基本理念を「学びの場からつながる場へ」とし、その整備拡充のため、3つの基本方針を定め、この具現化を新図書館の目標としています。



さらに、基本計画において、新図書館に付与される機能に即して求められるサービスを次のとおり示しています。

機 能	求められるサービス
①開架閲覧	地域における読書拠点の整備 子どもの読書活動の推進 蔵書充実 地域・学校との連携
②親子・児童	子どもの「生きる力」を育む読書活動への支援 親子がゆっくりと時間を過ごせる空間創出 地域での子育ての支援のために情報提供
③地域情報・文化発信	地域の情報発信拠点としての整備 地域課題解決のための利用促進 多様な情報の発信
④展示・発表活動	「学び」の成果の発表の場の創出
⑤学習	「学び」の実践の場の創出 地域の「学び」の情報発信
⑥市民交流	図書館を核とした「にぎわい」の創出 自発的来館を促す期待感の創出
⑦図書保存	長期的展望に立った、地域社会の情報源となる図書充実
⑧管理運営	柔軟な管理運営体制の構築

(5) 本計画における図書館サービスの実施

本計画では、基本計画における基本理念・基本理念のコンセプト・3つの基本方針を具現化することを目標に、新図書館に付与される8つの機能ごとに図書館サービスの実施に取り組みます。

なお、⑦図書館保存機能、⑧管理運営機能で求められるサービスは、「管理運営の基本的な方針」・「蔵書計画」に基づき実施していきます。

2 機能ごとの図書館サービスの取組内容

① 開架閲覧機能

図書資料の収集、保存及び提供を主とする図書館の基本的役割を大切にし、より多くの人にサービスを提供できるよう努めます。また、学校や園、地域と連携した読書活動の推進に取り組みます。

<取組内容>

(1) 図書館サービスの周知

レファレンス*や関係機関の紹介、相互貸借など図書館サービスの周知に取り組みます。また、施設の利用案内を行うイベント等を開催します。

(2) レファレンスサービスの充実及びデータベースの作成・公開

館内でのレファレンスサービスだけでなく、図書館外からや開館していない時間帯でも利用できるよう、レファレンス事例を蓄積し、データベース化して公開します。

(3) 人権、多文化共生等への学習機会の創出

平和学習や人権学習、多文化共生の理解に向けた資料の充実や講演会を実施します。

(4) 図書館サービスを支える人材育成

図書館を取り巻く状況の変化に対応した人材育成の取組をより進めるため、図書館職員は積極的に研修に参加し、経験や知識の共有化や日常業務における情報交換の仕組みづくりを行い図書館サービスの向上に努めます。

(5) ボランティア団体との連携強化

図書館運営や読書活動への市民参画を進めるため、共催行事の拡充や地域ボランティアセミナーや図書修復講座、定期的な交流会などを通して、ボランティア団体と図書館との連携を強化し、図書館サービスを支える人材育成とその活動支援をします。

(6) 保育園や幼稚園と連携した読書活動の推進

選書相談や団体貸出の推進に取り組むとともに、図書館職員による読み聞かせや年齢や成長に応じたブックリストを作成し提供します。また、保育園や幼稚園と協議し、図書ユニット*を作成し、巡回貸出するシステムを構築します。

(7) 学校と連携した読書活動の推進

学校図書館と連携し、年齢、学年、学習指導要領に沿った図書ユニットを作成し、巡回貸出するシステムを構築します。また、しらべもの学習のための図書館利用講座の開催やパスファインダー*の作成を進めます。

(8) 市内高等学校と連携した読書活動の推進










ヤングアダルト世代に向けた図書館利用講座を開催するとともに、図書館の利用促進のため、図書貸出券の発行を促進します。

(9) 図書館を核とした地域ごとの読書活動拠点づくりとその支援

放課後児童クラブなどの子どもの居場所、高齢者や障がい者等の福祉施設、企業や地域

団体等への選書相談や団体貸出を推進します。

<取組年度>

	R3	R4 (2022)		R5	R6	R7
	(2021)	開館前	開館後	(2023)	(2024)	(2025)
図書館サービスの周知	継続	継続	拡充	継続		
レファレンスデータベースの作成・公開	準備	準備	公開			
人権、多文化共生等への学習機会の創出		調整	実施			
図書館サービスを支える人材育成	継続	継続	継続 拡充	継続		
ボランティア団体との連携強化	継続	継続	継続 拡充	継続		
保育園や幼稚園と連携した読書活動の推進	一部 実施	準備 継続	実施 継続	継続		
学校と連携した読書活動の推進	準備	準備	実施	継続		
市内高等学校と連携した読書活動の推進		検討	準備	実施	継続	
図書館を核とした地域ごとの読書活動拠点づくりとその支援	検討	準備	実施	拡充		

② 親子・児童機能

子ども達や中高生が本に親しみ、本を読む習慣を身につけるきっかけになる取組を行います。また、親子でゆったりとした時間を過ごしてもらうため、絵本の充実や子育てに関連した図書、情報を提供します。

<取組内容>

(1) 子どもの読書活動の推進

図書館職員による読み聞かせなど、本との触れ合いの機会を提供するとともに、家庭での読書習慣の確立のため保護者に向けた講座等を行います。

(2) 読み聞かせ等のボランティア団体の協力

図書館職員だけではなく、読み聞かせ等のボランティアの協力により、本との触れ合いの機会を提供します。

(3) 館内で安心して過ごせる環境整備

乳幼児や障がいなどにより、ぐずったり気持ちが落ち着かない時なども館外に出ることなく、安心して過ごせる静音室を設置します。また、おはなしの部屋において、乳幼児やその保護者に対し、子どもへの読書習慣を身につけるための相談や年齢、成長に応じた選書相談などを行います。

(4) 子育てに関連する情報や学びの情報を発信するなど子育てを支援

子育て支援センターのサテライトコーナーを設けて、子育てに関する相談や関連する行政等からの情報を収集し提供します。

<取組年度>

	R3	R4 (2022)		R5	R6	R7
	(2021)	開館前	開館後	(2023)	(2024)	(2025)
子どもの読書活動の推進	準備	準備	実施	継続		
読み聞かせ等のボランティア団体の協力	継続	継続	継続			
館内で安心して過ごせる環境整備		準備	実施	継続		
子育てに関連する情報や学びの情報を発信するなど子育てを支援	検討	準備	実施	継続		

③ 地域情報・文化発信機能

日常生活や仕事、地域課題解決に向けた利用を進めるために、参考図書やデータベース等を整備し、情報提供をします。また、図書館の取組紹介などを積極的に情報発信します。

<取組内容>

(1) 図書館の情報発信機能の強化

図書館職員のおすすめ本や読書活動の紹介などを盛り込んだニュースレターの定期的な発行に取り組みます。また、館内イベントや図書館利用講座、企画展示の開催等、ホームページへの掲載内容の充実に取り組むほか、SNS*の利用などにより、可能な限りリアルタイムの情報発信に取り組みます。

(2) さまざまな媒体を用いた情報の提供

図書資料以外にも、案内パンフレットやリーフレット、館内で利用できる商用データベースなど、様々な媒体を組み合わせた情報提供に取り組みます。

(3) パスファインダーの作成

利用者の情報活用能力の向上を図るため、パスファインダーの作成と公開に取り組みます。

(4) 市を中軸にした取組や行事、相談窓口などの行政情報の集約と提供

市内で開催されるイベントや取組などのチラシやリーフレット等を収集し、情報提供します。

(5) 時事問題やグローバル化に対応したリアルタイムな情報提供

タブレットなど情報機器類の貸出サービスを行うことで、リアルタイムな情報提供を行います。また、SDGs*への取組など、時事問題や関心の高い課題解決のテーマ資料の収集、提供も行います。

(6) 国立国会図書館等の資料の利用促進

国立国会図書館や点字図書館等の他機関と連携し、市民が情報にアクセスしやすい環境づくりや読書環境を充実します。また、電子図書館の整備を進めることで、来館が困難な方へも読書活動を提供します。









(7) 地域情報とそれに関連した図書情報の発信

地域の歴史や偉人、食文化等が掲載されている地域資料や観光パンフレットを備え、観光案内のサポートにつなげます。また、市のさまざまな魅力を発信する図書資料を収集し提供します。

(8) 図書館ホームページのウェブアクセシビリティ*の構築

高齢者や障がいのある人を含め、誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できるよう、ウェブアクセシビリティを実現します。

<取組年度>

	R3	R4 (2022)		R5	R6	R7
	(2021)	開館前	開館後	(2023)	(2024)	(2025)
図書館の情報発信機能の強化	一部 実施	準備 継続	実施 継続	継続		
さまざまな媒体を用いた情報の提供	一部 実施	準備 継続	実施 継続	継続		
パスファインダーの作成	準備	準備	実施	継続		
市を中軸にした取組みや行事、相談窓口などの行政情報の集約と提供	継続	拡充	継続			
時事問題やグローバル化に対応したりリアルタイムな情報提供	継続	拡充	継続			
国立国会図書館等の資料の利用促進	準備	準備	実施	継続		
地域情報とそれに関連した図書情報の発信	継続	拡充	継続			
図書館ホームページのウェブアクセシビリティの構築	検討	準備	実施	継続		

④ 展示・発表活動機能

市の関係部署と連携した企画を引き続き推進するとともに、連携先の拡充に努め、季節や社会情勢、利用者のニーズに応えるテーマ展示を行います。

生涯学習活動の支援として、市民の館内での活動成果発表の場を設けます。

<取組内容>

(1) 多様な分野について活動成果を発表できる場の提供

本を介したグループ学習や市民団体の活動発表などの場を提供します。

(2) 市域全体の課題解決や将来への展望といったまちづくりを支援

市民のさまざまな思いや課題解決に向けた取組の集約や発信、その蓄積を行います。

<取組年度>

	R3	R4(2022)		R5	R6	R7
	(2021)	開館前	開館後	(2023)	(2024)	(2025)
多様な分野について活動成果を発表できる場の提供		準備	実施	継続		
市域全体の課題解決や将来への展望といったまちづくりを支援		準備	実施	継続		

⑤ 学習機能

市域の生涯学習の場として、公民館やかめやま人キャンパスなどと連携し、学びの情報発信をするとともに、人と情報を結びつける取り組みをします。

<取組内容>

(1) 講座内容に即した図書資料や情報の提供による一体的な学びの促進

公民館講座や各部署が開催する行政講座のテーマに合わせた資料展示や資料貸出をします。

(2) 生涯学習人材バンク・サークル活動、民間も含めた講座など市域の学び情報の集約発信

市内で行われる講座や研修会などのチラシやリーフレット等を収集し情報提供します。

(3) 図書館から発信される地域情報を「学び」に生かすために、さまざまな世代などにおけた情報リテラシー*学習の実施と支援

OPAC*やデータベースを設置し、図書館を効果的に活用するための検索講座や調べ方講座など利用講座を開催します。






(4) 座席予約の仕組みの検討

館内の混雑や空席の状況が分かるような仕組みを検討します。

(5) 参考図書の充実

紙媒体による参考図書をはじめ、商用データベースの活用による資料提供を行います。

<取組年度>

	R3	R4(2022)		R5	R6	R7
	(2021)	開館前	開館後	(2023)	(2024)	(2025)
講座内容に即した図書資料や情報の提供による一体的な学びの促進	準備	実施	継続			
生涯学習人材バンク・サークル活動、民間も含めた講座など市域の学び情報の集約発信	継続	継続	拡充	継続		
図書館から発信される地域情報を「学び」に生かすために、さまざまな世代などにおけた情報リテラシー*学習の実施と支援	一部実施	一部実施	実施	継続		
座席予約の仕組みの検討	検討	準備	実施	継続		
参考図書の充実	検討	準備	実施	継続		

⑥ 市民交流

地域でのコミュニケーションを活性化させ、市民同士で知識と情報を共有し、新たな知を生み出せる、子どもや高齢者など世代を問わず誰でも安心して利用できる機会を提供します。

<取組内容>

(1) 参加者同士が交流できるイベントの開催

1冊の本について参加者同士がお互いの感想を述べあう読書会やビブリオバトルなどの読書活動イベント、近接地域との広域的な連携イベントの開催、誰もが本に親しむイベントを開催します。

(2) 市民が参画運営する市民交流イベントの立ち上げ・開催の支援

個人利用者だけでなく事業者、学校、公的機関の参画による展示や企画を通じた人脈づくり等が行える交流会などを開催します。また、中高生が中心となって作成する図書館情報紙の発行とその支援を行います。

(3) 地域団体との連携によるイベント等の開催により、地域間交流の支援

まちづくり協議会など地域との連携による読書イベントを開催し、地域間交流につながる取組をします。

(4) 同世代交流や他世代交流の支援

子育て世代が気軽に来館し交流できる「親子図書館デビュー」や親子と他世代交流をする機会を設けます。

<取組年度>

	R3 (2021)	R4 (2022)		R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
		開館前	開館後			
参加者同士が交流できるイベントの開催	検討	準備	実施	継続		
市民が参画運営する市民交流イベントの立ち上げ・開催の支援	検討	準備	実施	継続		
地域団体との連携によるイベント等の開催により、地域間交流の支援	検討	準備	実施	継続		
同世代交流や他世代交流の支援	検討	準備	実施	継続		

3 各年度の成果指標

	R3	R4 (2022)		R5	R6	R7
	(2021)	開館前	開館後	(2023)	(2024)	(2025)
レファレンスサービスのデータベース化した件数(件)	-	-	50	100	150	200
保育所、幼稚園への司書派遣回数(回)	-	-	3	12	24	36
学校向け図書ユニット作成数(セット)	-	-	-	14	25	36
保護者向けの講座の開設回数(回)	-	-	-	1	2	3
図書館利用に関するニュースレターの発行回数(回)	-	-	1	3	6	12
パスファインダーの作成件数(件)	-	-	10	15	20	25
年間のテーマ展示回数(回)	50	10	10	60	65	70
市民団体の活動発表の場の提供回数(回)	-	-	3	6	12	18
講座内容に即した図書情報の提供回数(回)	-	-	1	3	6	12
情報リテラシー学習講座の取組回数(回)	3	1	1	3	6	12

4 計画実現のために

1. 推進のための連携

この計画の推進にあたっては、行政が一体となって公共機関やボランティア団体、地域読書活動拠点等の読書活動推進にかかわる個人、団体の協力を得ながら取り組むことが不可欠であり、市立図書館が中心となって、計画の実現に向けて連携や他の施策等との調整を図ります。

2. サービス提供の体制

本市における読書活動の推進を図るため、市立図書館において年度ごとの各施策の進捗を把握し、開館までは亀山市立図書館運営委員会により定期的な点検及び評価を受け、新図書館開館後は、新たな課題に対する意見を聴取する機関を設け、同じく定期的な点検及び評価を受けます。また、より良い図書館サービスにつなげるための改善策を検討します。さらに、市民や利用者ニーズ、地域状況などに柔軟かつ的確に対応するためにも、サービス提供体制の整備や司書を含む職員の資質・技能の向上に努めます。

3. 計画的な展開

この計画に掲げた施策の実施状況を把握し、年度ごとに検討を行いながら、亀山市立図書館運営委員会により、新図書館開館後は、新たな課題に対する意見を聴取する機関に報告し、適正な展開に努めます。

5 用語の説明

頁	用語	説明
4頁	レファレンス	参考、参照という意味の英語。
4頁	図書ユニット	巡回サービスの対象とする世代や学習指導要領に沿って集めるひとまとまりの書籍群。
4頁	パスファインダー	あるテーマについて調べるときに、図書資料や情報源などの探し方を紹介した情報資料。
7頁	SDGs	日本語では「持続可能な開発目標」と訳される。世界を変えるための17の目標があり、国連のすべての加盟国の合意でつくられた、2030年までに全人類が達成すべき持続可能な開発目標。
7頁	ウェブアクセシビリティ	高齢者や障害者など心身の機能に制約のある人でも、年齢的・身体的条件に関わらず、ウェブで提供されている情報にアクセスし利用できること。
7頁	SNS	ソーシャルネットワーキングサービス (Social Networking Service) の略で、登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービス。
10頁	情報リテラシー	リテラシーは読解記述力を意味する英語。インターネットが普及した現代における情報力を指す。
10頁	OPAC	オンラインで検索し図書館の蔵書検索ができる目録情報のデータベース、またはそのシステム。

市民とつくる図書館サービスアクションプラン(仮称) 骨子案と亀山市図書館サービス実施計画(案)の対比表

① だれもが集いやすい場

NO	提供するサービスの方向性	具体的な内容	現状	記載頁	機能名	取組内容
1	大人の読み聞かせや朗読会、ビブリオバトルなどの読書活動イベントの開催。	朗読会やビブリオバトルなど読書活動イベントを開催する。	一部実施	11	⑥市民交流	(1)参加者同士が交流できるイベントの開催
2	地域ごとの読書活動拠点づくり。	地域の読書活動拠点づくりを進めその支援をする。地域に応じた課題解決のための選書および図書ユニットによる物流システムを構築する。	未実施	4	①開架閲覧機能	(9)図書館を核とした地域ごとの読書活動拠点づくりとその支援
3	市域全体に広がる読書ネットワークの構築。	図書館や地域読書活動拠点にて、寄贈の受入れやその活用のほか、除籍本や寄贈本を通したリサイクル交換会を開催する。	一部実施	4 11	①開架閲覧機能 ⑥市民交流	(9)図書館を核とした地域ごとの読書活動拠点づくりとその支援 (1)参加者同士が交流できるイベントの開催
4	近接地域との広域的な相互貸借やイベントの開催。	近隣自治体と連携した企画や展示イベントを開催する。イベント内容に即した関連資料の貸借を調整する。	未実施	11	⑥市民交流	(1)参加者同士が交流できるイベントの開催
5	読み聞かせ、読書手帳、手作り絵本など本に親しむことができる活動。	読書手帳の運用開始や読書マラソンなど図書館情報システムを活用した取組を実施する。また、絵本づくり教室など本に親しむきっかけになるイベントを開催する。	実施	11	⑥市民交流	(1)参加者同士が交流できるイベントの開催
6	子ども自身がイベントを通じて読書への興味を深めることができる取組。	ポップを活用したおすすめ本コーナーの設置や図書館と利用者が本を介して交流する掲示板の設置など、利用者自身が参画できるコーナーを設置する。また、学校やクラス単位で一定期間活用できるブースを設置する。	未実施	11	⑥市民交流	(1)参加者同士が交流できるイベントの開催 (2)市民が参画運営する市民交流イベントの立ち上げ・開催の支援
7	子ども読書の日や読書週間などを通した子ども読書環境の創出。	子どもや親子向けイベントの実施など、企画段階からボランティアや市民が参画するイベントを開催する。	実施	11	⑥市民交流	(1)参加者同士が交流できるイベントの開催 (2)市民が参画運営する市民交流イベントの立ち上げ・開催の支援
8	企業や団体と連携し地域活動と図書をつなぐイベント開催。	駅前周辺地域や事業所のイベントへの相互協力や参画を行う。	一部実施	11	⑥市民交流	(1)参加者同士が交流できるイベントの開催
9	観光情報とそれに関連した図書情報の発信。	地域の歴史、民俗、動植物、偉人、食文化などが掲載されている地域資料や観光パンフレットを備え、観光客の地域に対する疑問の解決など観光案内的なサポートに繋げる。地域文化に関する企画展を開催し、市民のみならず観光客の関心も集め地域内外の交流に繋げる。	実施	7 11	③地域情報・文化発信 ⑥市民交流	(7)地域情報とそれに関連した図書情報の発信 (3)地域団体との連携によるイベント等の開催により、地域間交流の支援
10	図書館や全庁的な行政からの発信、近接地域市などからの発信も含め何か展示されているという期待感を持てる運用。	市域で開催されるイベント情報や観光ガイドの設置のほか、期待感を持って図書館に入って来られるよう入口付近に季節を感じる飾りや話題性の高いテーマの資料展示や配架を行う。	実施	7 11	③地域情報・文化発信 ⑥市民交流	(4)市を中軸にした取組みや行事、相談窓口などの行政情報の集約と提供 (7)地域情報とそれに関連した図書情報の発信 (2)市民が参画運営する市民交流イベントの立ち上げ・開催の支援
11	地域情報を学びに生かすためさまざまな世代などに向けた情報リテラシー学習の実施及び支援。	しらべ学習を支援するため、OPAC(利用者用検索端末)・データベースを設置し、検索講座や調べ方講座など利用ガイダンスを行う。	一部実施	10	⑤学習機能	(3)図書館から発信される地域情報を「学び」に生かすために、さまざまな世代などに向けた情報リテラシー学習の実施と支援
12	図書館フェスティバルなどの市民が企画運営する市民交流イベントの立ち上げ及び開催の支援。	個人利用者だけでなく事業者、学校、公的機関の参画による展示や企画を通した人脈づくり等が行える交流会などを開催する。	一部実施	11	⑥市民交流	(1)参加者同士が交流できるイベントの開催 (2)市民が参画運営する市民交流イベントの立ち上げ・開催の支援
13	親子図書館デビューの支援や他世代交流支援。	図書館デビューを支援するイベントを開催する。また、利用ガイダンス等イベント時には、他世代との交流が持てるような企画をする。	一部実施	7 11	③地域情報・文化発信 ⑥市民交流	(1)図書館の情報発信機能の強化 (4)同世代交流や他世代交流の支援
14	市外からの来訪者に向けたおもてなし交流支援。	亀山市らしさが伝わるよう観光ガイドやイベント情報等のチラシ、リーフレット類を収集配架する。また、資料類は最新のものを配置する。	未実施	7 11	③地域情報・文化発信 ⑥市民交流	(7)地域情報とそれに関連した図書情報の発信 (3)地域団体との連携によるイベント等の開催により、地域間交流の支援

市民とつくる図書館サービスアクションプラン(仮称) 骨子案と亀山市図書館サービス実施計画(案)の対比表

②人と情報をつなぐ場

NO	重点的取組項目	具体的な内容	実施状況	記載頁	機能名	取組内容
1	福祉部局と連携して就学前児童の家庭での読み聞かせの推進。	ブックスタートやファミリー読書リレーの運用支援を行う。発達段階に応じた資料の紹介を行う。健診時等における出張ミニ講座などを開催する。	一部実施	4 6	①開架閲覧機能 ②親子・児童機能	(6) 保育園や幼稚園と連携した読書活動の推進 (1) 子どもの読書活動の推進 (2) 読み聞かせ等のボランティア団体の協力
2	保育所、幼稚園などにおける出前読み聞かせなど就学前児童の読書習慣の確立。	ファミリー読書リレーや読書チャレンジ選定本の長期貸出や各選書相談を行う。職員による出前トークやミニ講座の開催と子どもの読書活動の重要性を伝える啓発活動を実施する。	一部実施	4 6	①開架閲覧機能 ②親子・児童機能	(6) 保育園や幼稚園と連携した読書活動の推進 (1) 子どもの読書活動の推進 (2) 読み聞かせ等のボランティア団体の協力
3	学校図書館ネットワークを構築し相互貸借や図書ユニットの巡回などの環境整備。	市内各小中学校図書館と市立図書館の相互貸借制度を実施する。	一部実施	4	①開架閲覧機能	(1) 図書館サービスの周知 (7) 学校と連携した読書活動の推進
4	ヤングアダルト世代が本を身近に感じられる図書館利用の促進。	市内高校と連携し、入学者や在校生への利用ガイダンスを開催する。全生徒に向けた図書貸出券の発行を促進する。	一部実施	4	①開架閲覧機能	(8) 市内高等学校と連携した読書活動の推進
5	ファミリー読書リレーに対応した図書ユニットの作成運用。	ファミリー読書リレーへの選書相談や幼稚園、保育所等が購入する発達段階に応じた選書の相談を行う。	未実施	4 6	①開架閲覧機能 ②親子・児童機能	(6) 保育園や幼稚園と連携した読書活動の推進 (1) 子どもの読書活動の推進
6	放課後児童クラブ、放課後子ども教室など地域における子どもたちの「居場所」に対しての団体貸出や「図書ユニット」の巡回と運用。	子どもの居場所施設に対する利用ガイダンスの実施や選書相談、選書取り置きサービスを行う。	一部実施	4	①開架閲覧機能	(9) 図書館を核とした地域ごとの読書活動拠点づくりとその支援
7	福祉施設に対しての団体貸出や図書ユニットなど利便性の向上。	高齢者や障がい者の居場所に対する利用ガイダンスの実施や選書相談、選書取り置きサービスを行う。	一部実施	4	①開架閲覧機能	(9) 図書館を核とした地域ごとの読書活動拠点づくりとその支援
8	地域ボランティアと連携して、就学前児童を対象とした園などへの出張による読み聞かせの実施。	保育所等へボランティアを紹介することや出張読み聞かせを行う。	一部実施	4 6	①開架閲覧機能 ②親子・児童機能	(5) ボランティア団体との連携強化 (6) 保育園や幼稚園と連携した読書活動の推進 (1) 子どもの読書活動の推進 (2) 読み聞かせ等のボランティア団体の協力
9	人権学習や多文化共生理解に向けた図書を整備充実し、学校や地域での活用。	あらゆる差別、いじめなどを許さない社会実現のための資料収集や各種相談窓口に関する資料の収集、テーマ展示等による情報の発信を行う。	一部実施	4	①開架閲覧機能	(3) 人権、多文化共生等への学習機会の創出
10	子育てに関する相談や子育てに関する行政団体からの支援や学びなどの情報の発信などの子育て支援。	子育て相談等のサテライト機能を持った窓口を親子・児童エリアに設置設置の検討をする。	未実施	6	②親子・児童機能	(3) 館内で安心して過ごせる環境整備 (4) 子育てに関連する情報や学びの情報を発信するなど子育てを支援
11	図書館ホームページを日本産業規格シングルAと同等レベルを目指す。	誰もがホームページで提供する情報や機能を支障なく利用できるよう、JIS規格レベルAの25項目を満たすよう作成する。	未実施	7	③地域情報・文化発信	(8) 図書館ホームページのウェブアクセシビリティ化の構築
12	図書館の活動情報をまとめたニュースレターの定期的な発信。	館内のイベントや図書館ガイダンス等を掲載したニュースレターを定期的に発行する。	一部実施	7	③地域情報・文化発信	(1) 図書館の情報発信機能の強化
13	市を中軸にした取組や行事、相談窓口など行政情報の集約。	市内で行われるイベントや取組などのチラシやリーフレット等を収集し、情報提供する。	実施	7	③地域情報・文化発信	(4) 市を中軸にした取組みや行事、相談窓口などの行政情報の集約と提供
14	国立国会図書館デジタル資料送信サービスやサピエ図書館の活用。	国立国会図書館やサピエ図書館登録とその活用促進を行う。絶版資料等入手困難な資料の閲覧や複写ができるサービス、活字による読書が困難な方へのサービスを整備する。	未実施	7	③地域情報・文化発信	(6) 国立国会図書館等の資料の利用促進 (8) 図書館ホームページのウェブアクセシビリティ化の構築
15	地域団体との連携による読書活動関連イベント等の開催と地域間の交流支援。	まちづくり協議会など地域との連携による読書イベントを開催し、地域間交流につなぐ取組をする。	未実施	11	⑥市民交流	(1) 参加者同士が交流できるイベントの開催 (3) 地域団体との連携によるイベント等の開催により、地域間交流の支援
16	全庁的な連携に基づいて子育てや健康づくりなど行政相談の実施検討。	子育て相談や健康づくり相談等のサテライト機能を持った窓口を親子・児童エリアに設置の検討をする。	未実施	6	②親子・児童機能	(3) 館内で安心して過ごせる環境整備 (4) 子育てに関連する情報や学びの情報を発信するなど子育てを支援

市民とつくる図書館サービスアクションプラン(仮称) 骨子案と亀山市図書館サービス実施計画(案)の対比表

③ まちづくりに参画することを楽しむ場

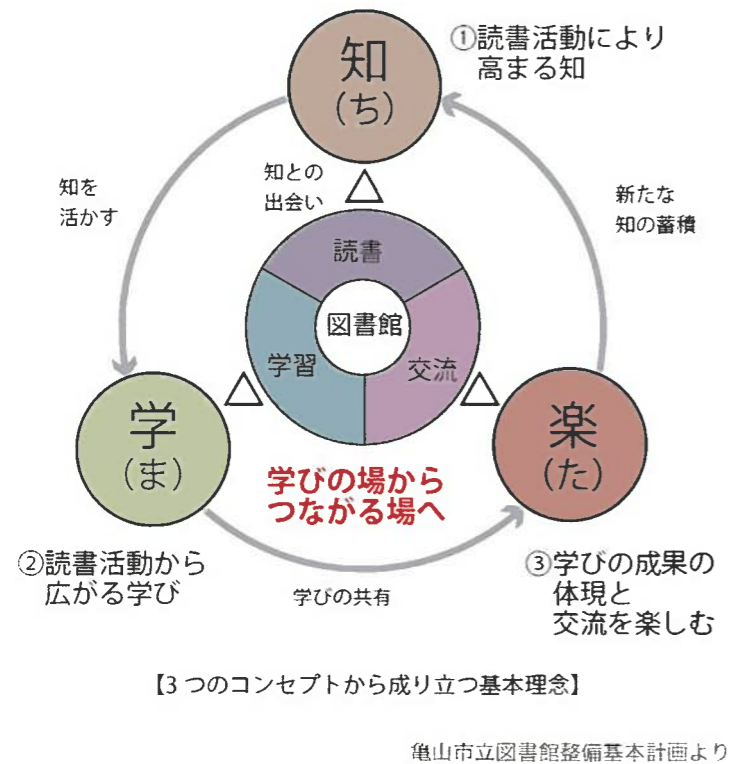
NO	重点的取組項目	具体的な内容	実施状況	記載頁	機能名	取組内容
1	図書館サービスを支える人材育成とその活動支援。	ボランティア育成を目的とした研修や講座を実施する。各団体等の活動PRを行う場を設定する。また、地域読書活動拠点とボランティアをつなげる仕組みをつくる。	一部実施	4 6 11	①開架閲覧機能 ②親子・児童機能 ⑥市民交流	(4) 図書館サービスを支える人材育成 (5) ボランティア団体との連携強化 (2) 読み聞かせ等のボランティア団体の協力 (3) 地域団体との連携によるイベント等の開催により、地域間交流の支援
2	子どもの読書活動を支える人材育成とその活動支援。	ボランティア育成を目的とした研修や講座を実施する。各団体等の活動PRを行う場を設定する。また、地域読書活動拠点とボランティアをつなげる仕組みをつくる。	一部実施	4	①開架閲覧機能	(4) 図書館サービスを支える人材育成 (5) ボランティア団体との連携強化 (9) 図書館を核とした地域ごとの読書活動拠点づくりとその支援
3	子ども・ヤングアダルト世代の「しらべもの学習」を支援するための図書館情報リサーチ講座の開催。	学校連携のもと、必要な分野のパスファインダーを作成する。子ども新聞や「しらべもの学習」のコーナーを設けるほか、利用ガイダンスを開催する。	一部実施	4 7 10	①開架閲覧機能 ③地域情報・文化発信 ⑤学習機能	(1) 図書館サービスの周知 (7) 学校と連携した読書活動の推進 (1) 図書館の情報発信機能の強化 (3) 図書館から発信される地域情報を「学び」に生かすために、さまざまな世代などに向けた情報リテラシー学習の実施と支援 (5) 参考図書の実践
4	職場体験だけでなく子ども図書館司書講座や中学生・高校生の図書館への企画運営参画の促進。	小中学生を対象にした子ども司書講座などキャリア教育を支援する。図書館新聞の作成等子ども達が企画運営に参画できる仕組みをつくる。	一部実施	4 11	①開架閲覧機能 ⑥市民交流	(1) 図書館サービスの周知 (1) 参加者同士が交流できるイベントの開催 (2) 市民が参画運営する市民交流イベントの立ち上げ・開催の支援
5	地域活動・地域ボランティア育成セミナーなどを開催し図書館へのボランティア参画の支援。	ボランティア育成を目的とした研修や講座を開催する。各団体等の活動PRを行う場を設定する。また、地域読書活動拠点とボランティアをつなげる仕組みをつくる。	一部実施	4	①開架閲覧機能	(4) 図書館サービスを支える人材育成 (5) ボランティア団体との連携強化 (9) 図書館を核とした地域ごとの読書活動拠点づくりとその支援
6	市域の子育て情報と読書活動を連結した一元的発信の実施。	関係部署と連携し、保育や教育、母子保健、子育てに関するイベントや情報を把握し提供する。	一部実施	6 7 11	②親子・児童機能 ③地域情報・文化発信 ⑥市民交流	(3) 館内で安心して過ごせる環境整備 (4) 子育てに関連する情報や学びの情報を発信するなど子育てを支援 (4) 市を中軸にした取組みや行事、相談窓口などの行政情報の集約と提供 (4) 同世代交流や他世代交流の支援
7	時事問題やグローバル化に対応したリアルタイムな情報提供。	タブレットなどの情報機器類の貸出サービスを行うことで、リアルタイムな情報提供を行う。	一部実施	7	③地域情報・文化発信	(1) 図書館の情報発信機能の強化 (2) さまざまな媒体を用いた情報の提供 (5) 時事問題やグローバル化に対応したリアルタイムな情報提供

市民とつくる図書館サービスアクションプラン(仮称) 骨子案と亀山市図書館サービス実施計画(案)の対比表

NO	重点的取組項目	具体的な内容	実施状況	記載頁	機能名	取組内容
8	レファレンス結果のデータベース化やメールによるレファレンス対応。	レファレンス事例を公開する。また、国立国会図書館レファレンス協同データベースに事例データを蓄積する。	一部実施	4	①開架閲覧機能	(1) 図書館サービスの周知 (2) レファレンスサービスの充実及びデータベースの作成・公開
				7	③地域情報・文化発信	(3) パスファインダーの作成
9	地域の魅力発信セミナーなど行政講座との連携を深め講座内容に即した図書情報の提供を進めるとともに図書館からの図書情報を組み合わせた一体的な学びの促進。	公民館講座や各部署が開催する行政講座のテーマに合わせた資料の展示や団体貸出、図書ユニットにより講座内容に即した資料の貸出や展示を行う。	一部実施	7	③地域情報・文化発信	(7) 地域情報とそれに関連した図書情報の発信
				10	⑤学習機能	(1) 講座内容に即した図書資料や情報の提供による一体的な学びの促進
10	生涯学習人材バンク・サークル活動、民間も含めた講座など市域の「学び」情報の集約。	市内で行われる講座や研修会などのチラシやリーフレット等を収集し、展示休憩スペース等で情報提供する。	実施	10	⑤学習機能	(2) 生涯学習人材バンク・サークル活動、民間も含めた講座など市域の学び情報の集約発信
11	地域課題解決に向けた個人やグループの自主的な学びに対して場の提供やレファレンスなどの支援。	レファレンスの充実のほか、個人学習室やグループ学習室の利用案内や市民活動や公民館講座など学びの成果を発表する場を設ける。	未実施	4	①開架閲覧機能	(1) 図書館サービスの周知 (2) レファレンスサービスの充実及びデータベースの作成・公開
				7	③地域情報・文化発信	(3) パスファインダーの作成
				9	④展示発表機能	(1) 多様な分野について活動成果を発表できる場の提供
				10	⑤学習機能	(2) 生涯学習人材バンク・サークル活動、民間も含めた講座など市域の学び情報の集約発信
12	市域全体の課題解決や将来への展望といったまちづくりを支援する取組の促進。	時代の要請に応じた課題を解決するための資料の収集や市が取組課題解決に役立つ資料の収集を行う。	一部実施	4	①開架閲覧機能	(1) 図書館サービスの周知 (2) レファレンスサービスの充実及びデータベースの作成・公開
				7	③地域情報・文化発信	(3) パスファインダーの作成 (4) 市を中軸にした取組みや行事、相談窓口などの行政情報の集約と提供
				9	④展示発表機能	(2) 市域全体の課題解決や将来への展望といったまちづくりを支援
				10	⑤学習機能	(3) 図書館から発信される地域情報を「学び」に生かすために、さまざまな世代などに向けた情報リテラシー学習の実施と支援 (5) 参考図書の充実
13	新聞や雑誌コーナーを活用した市民井戸端会議などの参加しやすいミニイベントの開催による来館者交流の促進。	新聞記事や社会情勢をテーマに来館者同士が意見を伝え合うことや、関心の高い本や著者をテーマに語り合う会を開催するなど、共通テーマで意見を自由に語り合う場をつくる。	未実施	11	⑥市民交流	(1) 参加者同士が交流できるイベントの開催 (2) 市民が参画運営する市民交流イベントの立ち上げ・開催の支援 (3) 地域団体との連携によるイベント等の開催により、地域間交流の支援 (4) 同世代交流や他世代交流の支援

基本的な考え方

■図書館の基本理念



「学びの場からつながる場へ」

～知る(ち)・学ぶ(ま)・楽しむ(た)～

「ち・ま・た」とは、古代において道の分岐・交差点を意味する「衢」(ちまた)にもつながり、古来より交通の要衝として栄え、街道文化が開花した亀山の地で、様々な情報が集まり、その情報をもとに人と人が語り、新たな地平が広がる場をイメージするものです。

3つのコンセプトは、一人一人の読書活動による知との出会いによって触発されて、深い学びへと広がりを見せます。また深められた学びによって高められた知を何らかのカタチで活かしていきたいとの思いが高まります。さらに、その発想の場として様々な交流活動が生まれます。そして、交流活動によって生み出された新たな知は亀山市の文化として蓄積され、次なる学びへと結びついていきます。

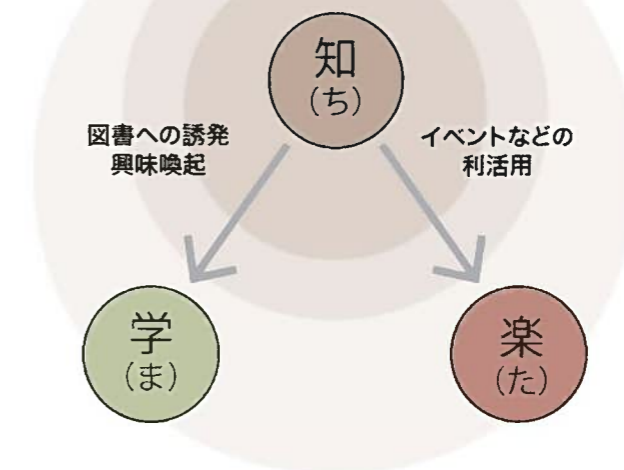
この知をめぐる学びのサイクルが、学びの場からつながる場の具体像となります。

■郷土資料コーナーの位置づけ

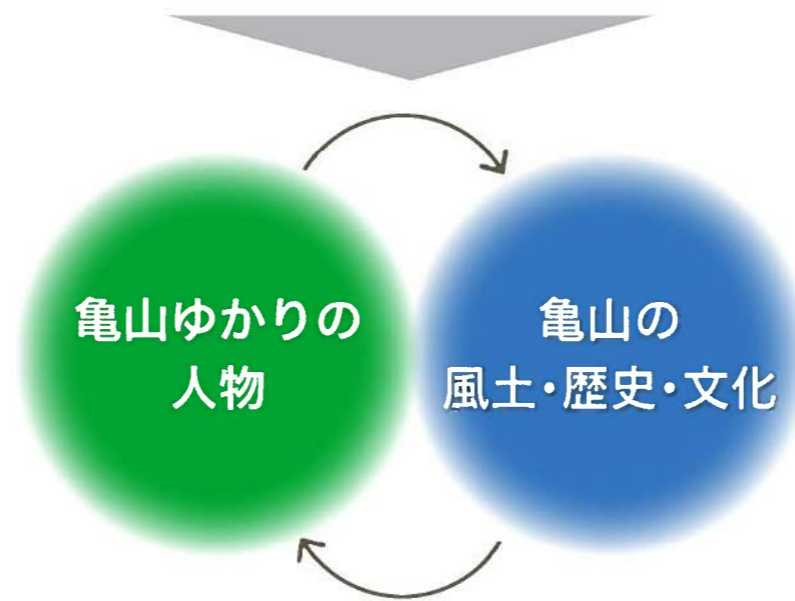
基本方針：知との出会いとその蓄積の場の創出

機能：地域情報・文化発信

「知との出会い」というコンセプトで、単にふるさとを紹介するというのではなく、図書館の中にある展示コーナーとして、図書館とのつながりや自らの学びを刺激し促すしかけ、さらには市民が楽しめるアクティビティでの活用が求められています。



ゆかりの人物
亀山とゆかりある偉人達の活躍に触れる

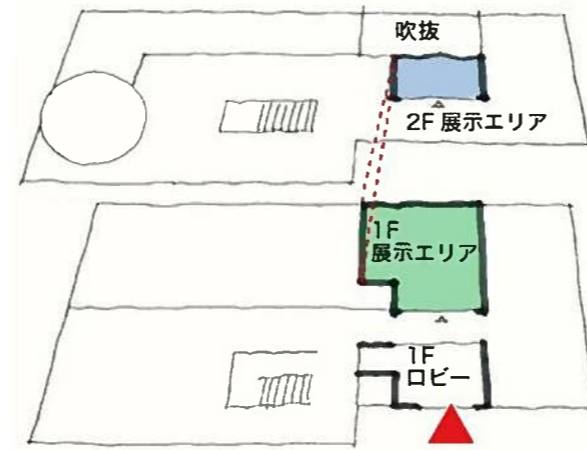


亀山文化
人・モノ・情報が行き交い発展してきた街道文化

新しい文化や情報との出会いで育まれてきた
亀山にゆかりのある偉大な人物と、その人物を育んだ亀山の風土・歴史・文化を発見することで
知への出会い(=きっかけ)を創出する文化発信拠点

郷土資料コーナーの展示の役割は知（＝本・情報）へつながることと捉え、
展示体験から本・読書へ興味喚起するストーリー展開を考えます。

1F 空間の方向性
 亀山市ゆかりの人物と、関連書籍を紹介し、郷土の偉人と読書活動をつなげる展示空間とします。
 また、特別な芸術活動を行う「場」として地域の誇りとなる図書館を目指します。



2F 空間の方向性
 亀山の歴史、文化、産業、自然などあらゆるトピックスと本を「つなげる」空間とし、図書館での自発的な学びのきっかけを生む場所とします。

1 階

出会う

亀山出身者や亀山にゆかりのある人物には文化・芸術に関連する人物が多く、あまり知られていない郷土の偉人を再発見するとともに「本」という媒体に導いていく。



導入・意識誘発

亀山文化のバックボーンとなる歴史を知ること、郷土への気づきを得ます。

興味・関心高揚

亀山市にゆかりの深いさまざまな人物を紹介することで、郷土への発見につながる興味・関心を高揚します。

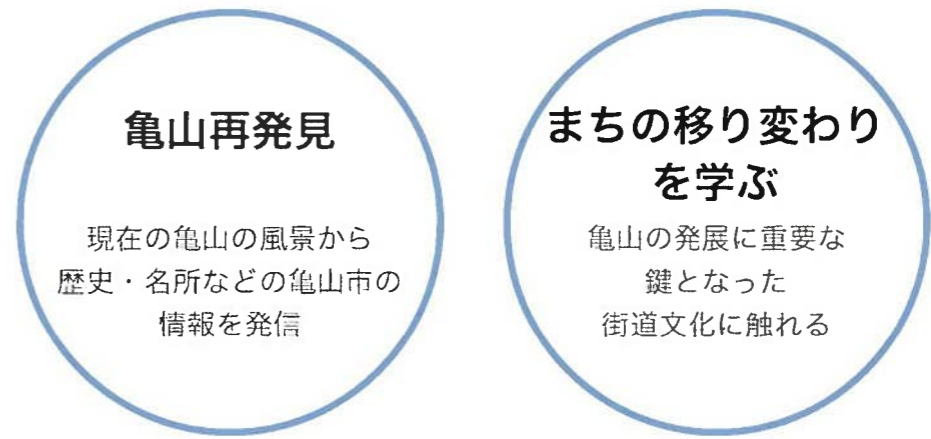
理解・納得促進

人物についてさらに深掘りするための書籍を紹介。人物からさらに広げ、偉人を育てた亀山の文化への学びと理解を促進します。

2 階

深める

現在の亀山からわかる歴史・文化・産業などの亀山文化をかたちづくるものを深掘りし、さらなる郷土への興味喚起をおこなう。



興味・関心高揚

今の亀山を知ること、街への興味、関心を高め、文化、風土を学ぶきっかけを作ります。

理解・納得促進

亀山ならではの街道文化から、発展してきたまちの変遷に触れることで郷土の成り立ちを理解し、新たな学びへとつなぎます。

4. 亀山ゆかりの文学作家

亀山にゆかりのある、著名な文学作家を紹介します。

- ・偉人の言葉、本の中の亀山
- ・略歴・受賞歴
- ・亀山との関わり
- ・偉人が愛した品

志賀直哉

代表作・暗夜行路に亀山が描かれている



坂口安吾

鈴鹿峠を舞台とした小説を出版



江戸川乱歩

幼少期亀山で過ごした日本を代表する推理小説家



3. 彫刻作品

彫刻家・中村晋也先生は実物資料として作品を展示。作品にかかる想いを知ったあとに、実際に作品を鑑賞してもらいます。

2. 亀山出身の偉人

現在の亀山市の名誉市民である彫刻家・中村晋也先生をはじめ、亀山市出身の偉人を紹介します。

- ・偉人の言葉、ふるさとへの言葉
- ・略歴・受賞歴
- ・亀山との関わり
- ・偉人が愛した品

服部四郎

文化勲章を受章した亀山出身の言語学者



衣笠貞之助

日本人初カンヌ映画祭グランプリを受賞した映画監督



尾崎隆

亀山市出身の世界的アルピニスト



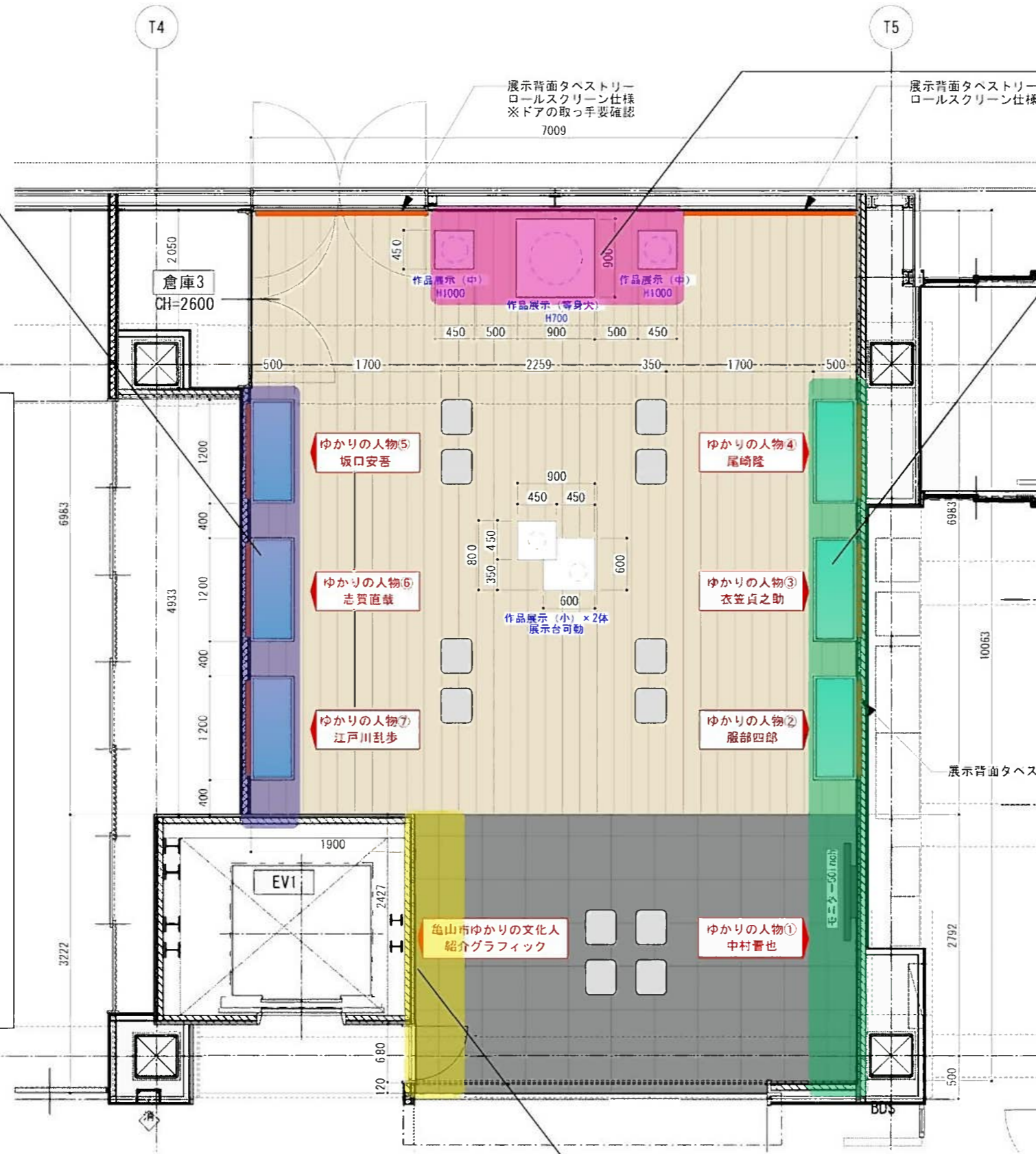
中村晋也

亀山市出身で亀山市名誉市民である彫刻家

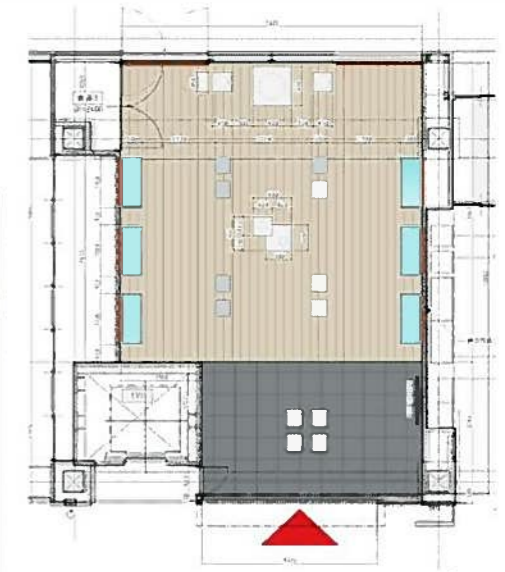


1. コーナーガイドンス

- ・偉大な人物たちを育んだ亀山
- ・書架検索



窓のように切り取られた空間で、コーナー全体へ誘引します。



彫刻作品

額縁のような手前の空間から、奥に中村晋也による彫刻作品を望める。

中村晋也

先人が築いた素晴らしいまちを守るのではなく
もうひとつ輪をかけて新しく

2. 亀山出身の偉人

入り口部分では、現在の名誉市民である中村晋也について解説。

1. コーナーガイドンス

近世・近代にかけて交通の要衝として発展してきた亀山。
その文化と自然の中で生まれ偉人、ゆかりの人物について紹介します。
中の展示空間への導入として来館者を誘引します。

紹介映像

亀山市公式YouTubeで配信されている「生涯現役の彫刻家 中村晋也」を
ダイジェストに再編集したものを待機映像として放映。
その功績やふるさと亀山への想いを紹介します。
全編の映像やもう1編の映像「祈りの彫刻 中村晋也」も選択して視聴可能にします。

吹抜け空間を活かした巨大バナーグラフィックで言葉から偉人を印象付けます。



偉人の言葉

著作の中に描かれた美しい亀山の風景や、作家が残した言葉などを印象的に見せます。

作品展示の両側にバナーを設け、搬入口を目立ちづらくします。

偉人の言葉

偉人が残した言葉や、本の一節を引用し、印象的に見せる。その人の生涯や功績、著作についての興味を喚起します。

略歴・受賞歴

亀山との関わり

どこで生まれ育ち、どのような生涯を送ったか、その人となり、また故郷に対する想いなどを紹介します。

偉人が愛したもの

その人にゆかりのある品や、当時使われていた道具、また愛用品などを展示。実際にものを目にする事で、人物を身近に感じてもらいます。

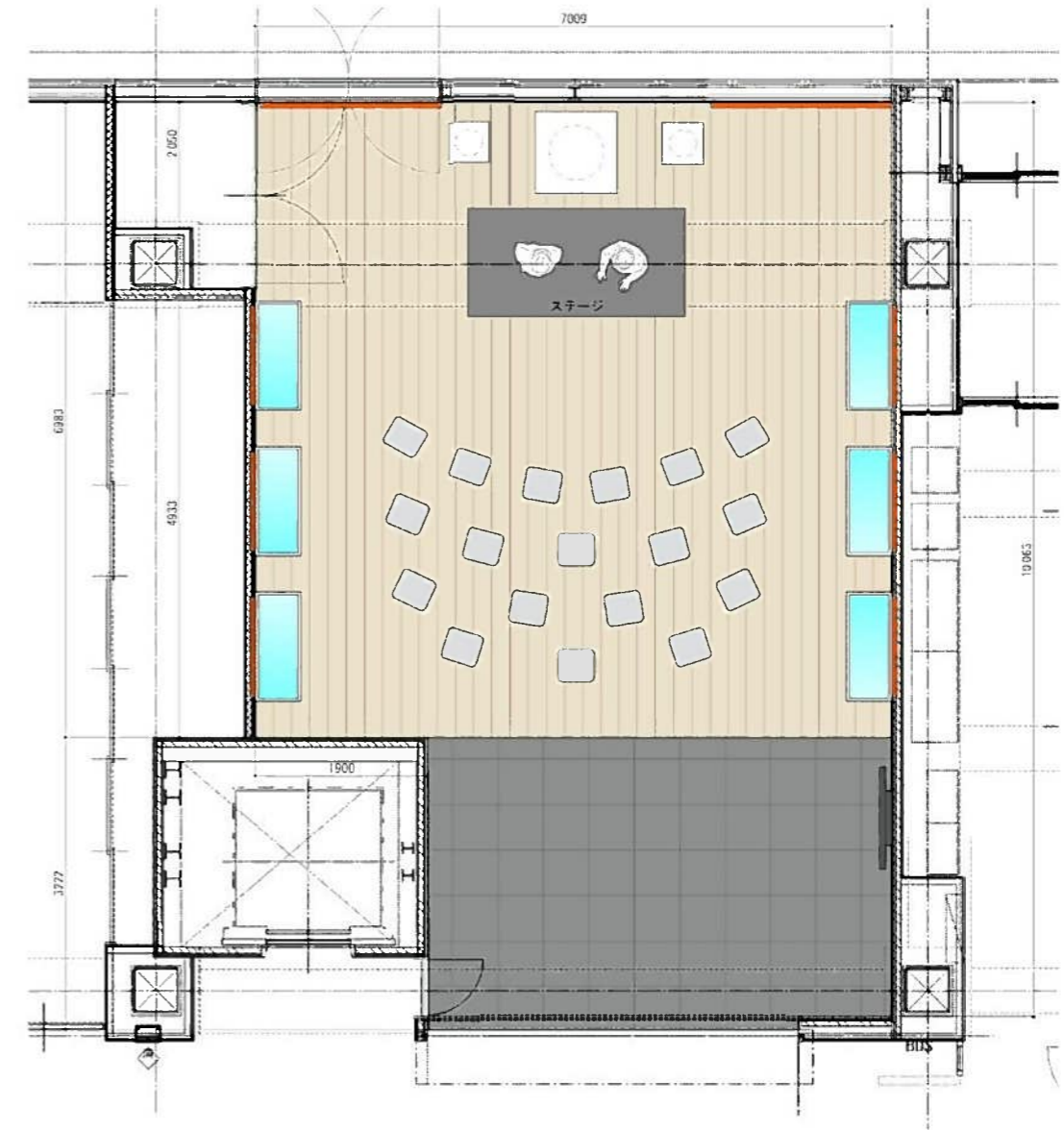
3. 亀山ゆかりの文学作家

亀山にゆかりのある文学作家を紹介。著作の中に描かれた亀山の姿や、亀山との関わり、資料、作品などについて紹介し、開架コーナーへの誘因のきっかけとします。

2. 亀山出身の偉人

旧亀山市名誉市民の偉人を紹介します。学者、映画監督、アルピニストといった多様な偉人を輩出した亀山の多様性と郷土への誇りを醸成します。

イベント利用時



開催イベントのイメージ

ここでイベントを行うことが市民のステータスとなるような、小規模でも少し特別感のある空間とし、市民が参加できる様々なイベントを開催する。



ミニコンサート



朗読会



トリエンナーレの展示場・イベント



亀山について学びながら、本を結ぶきっかけをつくる展示空間とします。



亀山の風景

現在の亀山にある様々な場所・コトをマップグラフィックで紹介します。

亀山のひみつ本

開ける本型パネルで亀山に関する様々な情報を紹介し、さらに下段の関連書籍で知識を深めてもらいます。

2. 亀山の道

近世・近代にかけて交通の要衝として発展してきた亀山のみち(=交通)と、それによって変化してきたまちに関することを紹介。基本情報、クイズ、書籍の3段構造で、本を使って知識を深めてもらいます。

Q&A亀山への道

亀山の道に関する3つのトピックについてQ&A形式で学べる。下段にヒントとなる書籍を配置し、本での学習効果を高めます。

1. 亀山の風景

現在の亀山の風景から、亀山に関する様々なトピックを取り上げて紹介。マップには名所や観光地、主要な施設などがプロットされた基本情報、本型ケースでトピックを紹介します。

亀山7座スツール

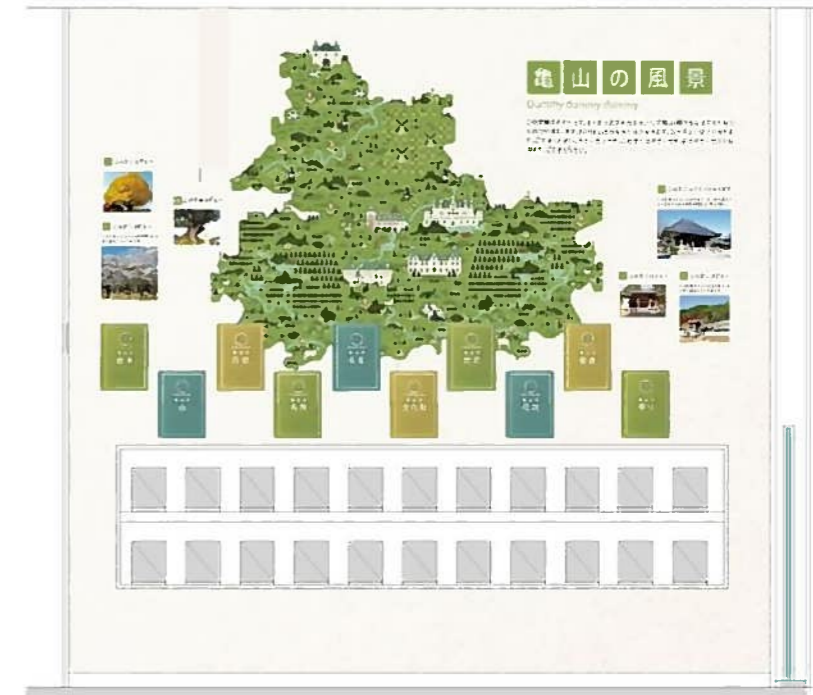
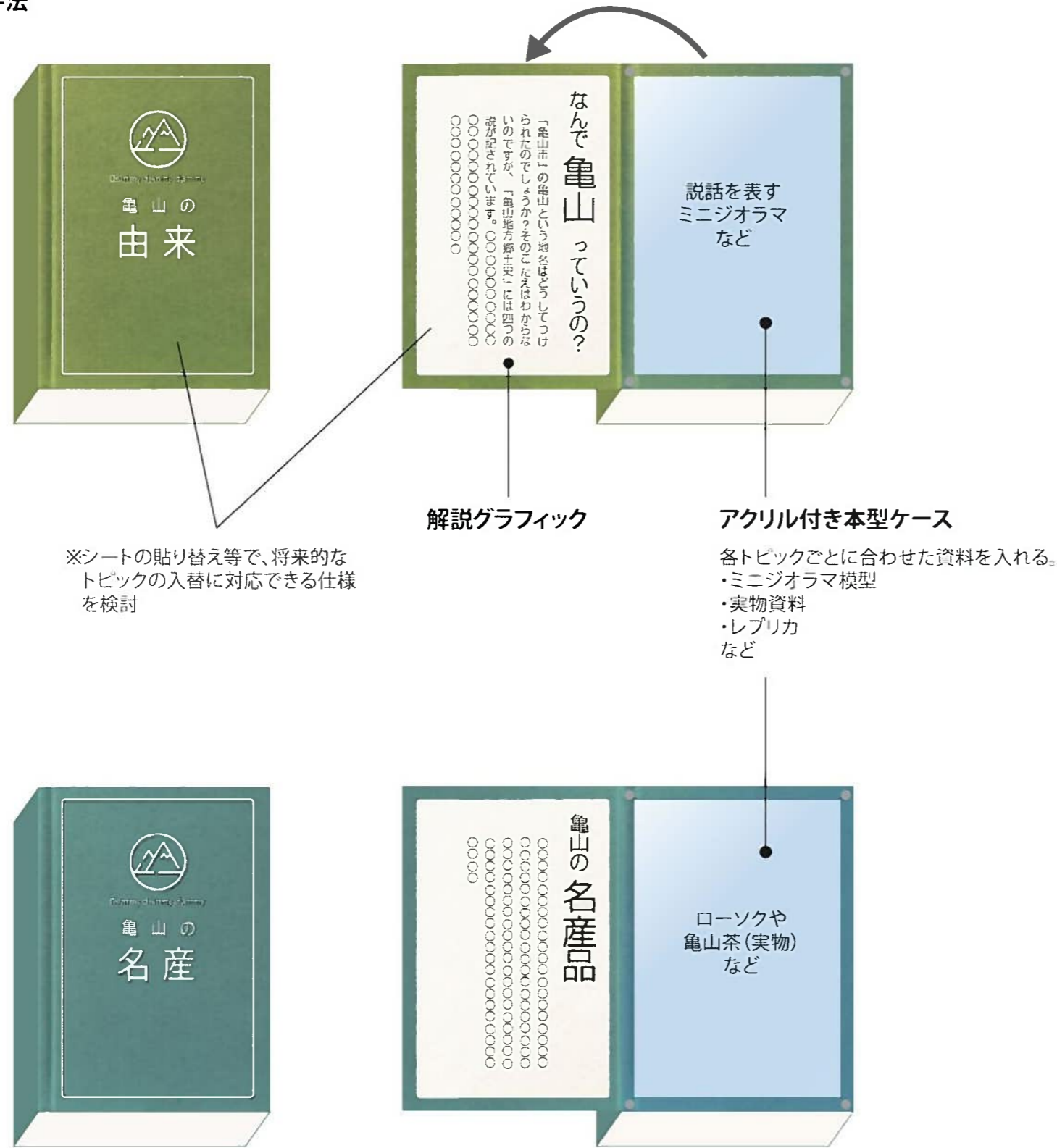
亀山の風景の象徴ともいえる鈴鹿山脈を模したスツール。1階で紹介する世界的アルピニストである故尾崎隆氏が世界の8,000メートル級の14座のうち7座の登頂に成功したことを記念して定められた亀山7座の情報をプリントし楽しく学べるツールとします。



スツール参考事例

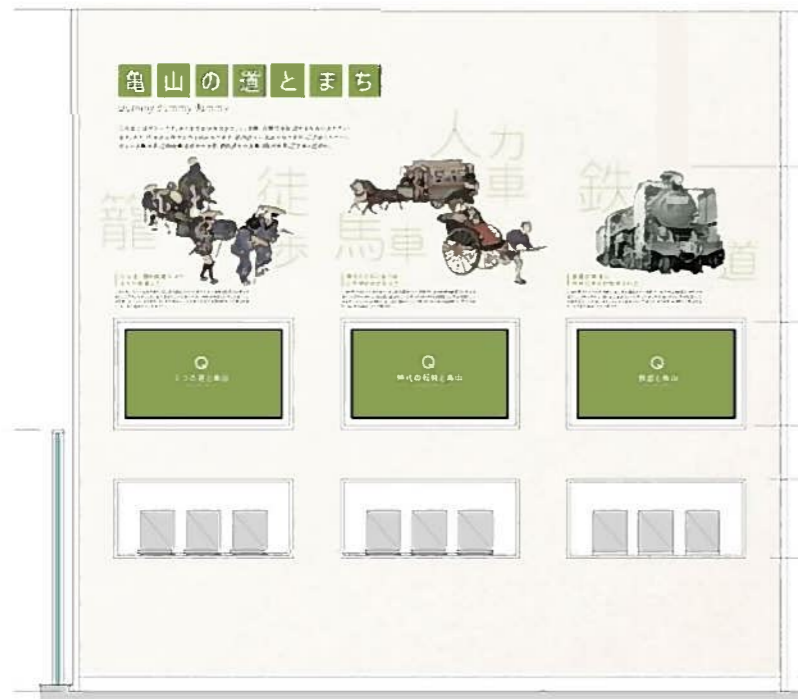
亀山のひみつ本

■展示手法



トピック	内容	資料
由来	地名の由来	説話のミニジオラマ
山	鈴鹿山脈や亀山7座	山のミニジオラマ
自然	珍しい植物や動物	植物標本など
名所	観光名所 など	観光地のミニジオラマ
名産	名産品	名産品(実物)
文化財	文化財、史跡、名勝など	文化財資料の縮小模型
歴史	歴史	化石などのレプリカ
伝説	白鳥伝説	白鳥伝説のミニジオラマ
街道	東海道と3つの宿	東海道五十三次風ジオラマ
祭り	代表的な祭り	関の山車の縮小模型

Q&A亀山への道



※TOP画面→情報検索 機能も検討
亀山市史と連動したコンテンツ展開を想定



トピック



東海道と亀山宿、関宿、坂下宿に関すること



明治維新によって変化したできごとや発展した技術、まちの変化に関すること



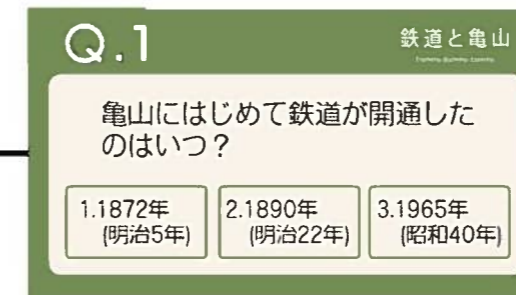
亀山機関区の開通と駅前のまちの発展、鉄道遺産に関すること

遷移フローイメージ

①TOP画面



②出題

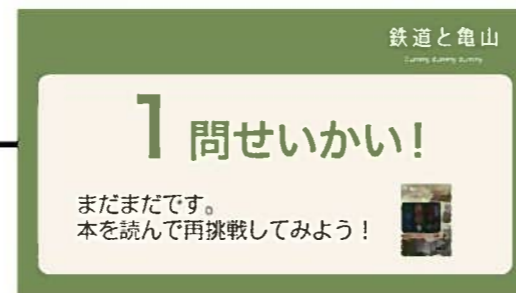


③解答・解説

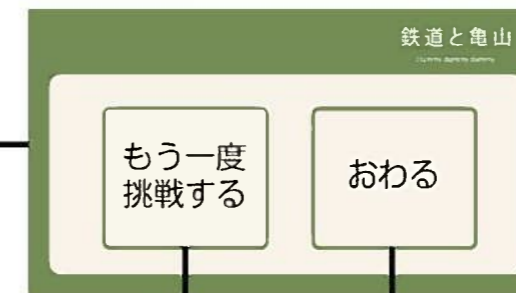


ランダムに5問程度出題

④評価



⑤選択画面



②出題へ

①TOP画面へ



新図書館を“学びの場からつながる場へ” “知る・学ぶ・楽しむ”ことができる図書館をめざして

新図書館は図書館本来の機能に加えて、市民交流や情報発信の機能、展示や発表活動機能を併せ持つ「多機能型図書館」を目指しています。本を通じたさまざまな学び、出会い、つながりが生まれる場に新図書館がなれるよう、市民と一緒に「知る・学ぶ・楽しむ」図書館の在り方を考えることを目的に 11/22(日) 図書館フォーラムを開催しました。



第1部 13:30～

図書館フォーラムの第1部 基調講演では、奈良大学文学部教授の嶋田学さんをお招きして“学びの場からつながる場”についてご講演いただきました。その中で、“なぜ図書館が必要なのか”、“地域の学びから人がつながる”、“図書館を生かし育てるのは住民”など、これまでの図書館勤務の経験に基づいた【地域に役立つ図書館像】についてのお話を聞くことができました。



第2部 15:00～



第2部は「図書館が市民皆さんの身近な場所になればいいな、そんな図書館があればいいな」をテーマにパネルディスカッションを行いました。三重県立図書館 館長 別所志津子さんにコーディネーターを務めていただき、パネラーとして 奈良大学文学部教授 嶋田学さん、まちづくり協議会連絡会議会長 鈴木壽一さん、三重県立亀山高等学校教諭 坂崎由明さん、服部 裕教育長の4名がそれぞれの立場からのご意見をいただき、これからの図書館の在り方を一緒に考えました。

新しい図書館は単なる読書をする施設だけではなく、駅前の立地を生かした集客力が期待できる施設です。また、平日・休日・昼夜を問わず利用できます。司書という専門の職員が調べごとの相談に応じてくれることで課題解決ができるなど、図書館が地域の拠点としての役割・特徴を生かすことで、生涯学習などとの関わりも広がると思います。そんな市民に身近な図書館を期待します。



まちづくり協議会連絡会議
会長 鈴木壽一さん



亀山高等学校 国語科
教諭 坂崎由明さん

最近の中学、高校生という年代の読書量は、かなり低いと認識しています。おそらく大学生もそうかもしれません。この年代にこそ、多くの本を読んで、読書活動に触れてもらい、多くの人々の考え方に触れ、しっかりした自分自身の考えを持てる大人へと成長してほしい、生きる力を養ってほしいと願っているところです。亀山駅を利用される高校生などが利用できる身近な図書館、学習の場になることを期待しています。

亀山市が整備する駅前図書館は、とても関心があります。駅前という利点を存分に利用することができ、とても羨ましく感じます。市内の高等学校とのコラボ企画など、こどもや青少年の読書活動が増えるきっかけになりそうですね。



三重県立図書館
館長 別所志津子さん



亀山市教育委員会
教育長 服部 裕



様々な情報が溢れ、多様な価値観が成り立つ今の社会を私たちがより良く生きていくには、知ること、学ぶこと、楽しむことは重要な視点です。この亀山市が持続し発展していくための大切な公共施設として新図書館の開館を楽しみにしていただきたいと思います。

参加者の声

- ・静かな場所というイメージがあるが、静かな空間と話をしてもよい空間を分ける設計になっているのがいい。
- ・嶋田先生のお話は、学校現場でも同じように生かせる内容だった。

令和2年度 図書館市民ワークショップの様子

11月7日(土)午後1時30分から、青少年研修センター集会場にて高村書店の高村照代さんを講師にお迎えし、「好きな本のPOPを作ってみよう!」と題して参加者の方に自分が選んだ好きな本を持ち寄ってもらい、その本の魅力を伝えるための手書きPOPを作成するワークショップを開催しました。

講師の高村さんからは水性マーカーを使ったタテ線、ヨコ線などの基本ストロークの仕方やカタカナ、ひらがなの書き方を教えていただきました。またPOP作成中、参加者からは熱心な質問がたくさんあり、時間を忘れるほど作業に夢中になってみえました。参加者からは、「好きな本の魅力を伝える方法をほかにも知りたい」、「本を読みたいという意欲が湧く一つのツールで、楽しかった」などの声が聞かれました。



これからもワークショップ等を通じて、
市民の方々に図書館の運営に参画していただく企画を開催します!



11月21日(土)午後1時30分から青少年研修センター集会場にて、「本の修理に挑戦!」をテーマに、図書館職員による本の修理方法を学ぶワークショップを開催しました。今回は、初歩的な修理方法を体験していただき、参加者からは、「とても勉強になった。もっと本を大切に使おうと思った。」、「今後も読み続けたい本なので修理できて嬉しかった」といった声が聞かれました。図書館の仕事には、バックヤードにおける作業もあることを知っていただく機会にもなり、図書館業務の一部を体験してもらう機会だけでなく、本を残すことについての思いも感じていただける機会にもなりました。



令和4年度の新図書館の開館に向けて、これまで、多くの方に参加していただいた図書館市民ワークショップや今回開催した図書館フォーラムは、亀山市が目指す「新しい図書館」の在り方を今一度、市民の皆さんとともに考える機会となっています。読書を楽しむのは勿論、市民の暮らしに根差し、学びと交流による有意義な時間を過ごすことができる「居場所」と新図書館がなれるよう今後も検討・整理を進めてまいります。